

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.117

2017.6

くしろ丹頂



一番草収穫作業 順調に進む!! (写真：鶴居村下久著呂 6/21撮影)

CONTENTS

- 第39回 釧路B&Wショウ ————— 1
- 高齢者等地域見守り活動に関する協定を締結
新規就農者へ激励状を贈呈/窓口セールスコンクール — 2
- 植生改善プロジェクト植生調査報告 ————— 3・4
- 日本獣医生命科学大学訪問 ————— 5
- 日本獣医生命科学大学の学生による感想文 — 5～7
- JAグループ通信 ————— 8
- 普及センターだより ————— 9
- JAジャンプのお知らせ ————— 10
- JA北海道厚生連からのお知らせ ————— 11
- 金融課からのお知らせ ————— 12
- 理事会報告/生乳生産実績/JAカレッジからのお知らせ — 13



新規就農者（後継者）へエールを!!
左から、田口佑輔さん（白糠） 橋村 翼さん（鶴居）

第39回 釧路B&Wショウ



入 賞 牛 一 覧 表			
リザーブグランドチャンピオン (シニアチャンピオン)			
KWF ストーム ヘズダ デイリス	(株)敬和ファーム	西部	
リザーブシニアチャンピオン			
ウツズスター エンペラー サンチエス レオ	林 稔幸	西部	
リザーブジュニアチャンピオン			
A ラツィオ ATWD エレガンツァ ビスタ ET	安藤 功	鶴居	

部	順位	名 号	出品者	地区
1部	3	OP オラホーム ブレイク コロコロ	植田 紘史	鶴居
	4	TKS ブラブラ リング	清水 武志	鶴居
	5	BS マツク サンハイ マツカ	(株)大坂ファーム	西部
	7	IF リラ ブロカウ ET	増田 一真	鶴居
2部	1	A ラツィオ ATWD エレガンツァ ビスタ ET	安藤 功	鶴居
	4	ウツズスター ジュディー シュリンプ タラ	林 稔幸	西部
	5	TKS マツカチエン プリス オボン ET	清水 武志	鶴居
	6	MS ヒラリー マツカチエン オリオン ET	松下 雅幸	鶴居
	9	デカリナー アシュ ブロードリーフ	松田 浩二	西部
	11	KWF サイエントリー コルビ ホープ RED	(株)敬和ファーム	西部
3部	2	MS アルチエ マツカチエン ジョー	松下 雅幸	鶴居
	5	フオグランド インプレッション ナナ	五十嵐 大地	西部
	6	セジス アットウッド ジャミラ	(農)清和農場	鶴居
4部	3	KWF アイデアル アットウッド プルツクリン	(株)敬和ファーム	西部
	4	ハイチャン スターブライト クイーンガール ET	(合)伊深ファーム	西部
5部	2	アワープライド ドアマン プランキー ET	植田 紘史	鶴居
	4	BS ハツビー コルト RED	(株)大坂ファーム	西部
6部	3	SP ルイスデール チャリー アベイル ET	(農)高橋農場	鶴居
8部	1	ハイチャン イトロー アフター フック	(合)伊深ファーム	西部
	2	OP エムビービー ラブリー カウ	植田 紘史	鶴居
9部	3	エメラルド ローリー ジェット	松田 浩二	西部
	5	VSツリー マックス ダーハム	對木 賢雅	西部
	7	パインハイブン ジャスパー アットウッド ムンナ X	松井 俊治	鶴居
	8	BS リー プレジャー	(株)大坂ファーム	西部
10部	2	ウツズスター マセスドラ グッド タイム	林 稔幸	西部
	3	ヘンドリカ シエリル ノーム	(農)清和農場	鶴居
	4	フオグランド スローブ ステディー	五十嵐 大地	西部
	5	アドミラル モスエース マルシエ	松田 浩二	西部

五月十三日、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で釧路ホルスタイン協議会主催による第三十九回 釧路B&Wショウが開催されました。

管内六JAから、計六十頭の出品牛が集まり、審査員は木村吉里氏（遠軽町酪農家）が審査にあたり、デーリイプリンセスは、鈴木実菜さん（標茶町）が務

めました。

審査の結果、リザーブグランドチャンピオンに(株)敬和ファームの出品牛KWF ストーム ヘズダ デイリス（4歳クラス）が選出され、また各部で当JAの出品牛は優秀な成績を収めました。

主な入賞牛及び出品者は表のとおりです。



12部	1	KWF ストーム ヘズダ デイリス	(株)敬和ファーム	西部
13部	1	ウツズスター エンペラー サンチエス レオ	林 稔幸	西部
	2	SP ルイスデール リリー サーマン ET	(農)高橋農場	鶴居



高齢者等地域見守り活動に関する協定を締結 ～地域住民の見守りや暮らしの支援を目的に～



左から、大石正行村長、武藤組合長

五月十五日、鶴居村役場で鶴居村と高齢者等地域見守り活動に関する協定を締結しました。

協定の具体的な内容は、「鶴居村とJAが業務上の連携を図り、積極的に見守り活動を行い、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。」事を目的としております。

高齢化が進む中、村とJAが相互に持つ長所を生かし、力を合わせ目的達成に向けて取り組んでいく事となります。



組合長から激励状を贈呈

平成29年度 新規就農者へ 激励状を贈呈!!

五月三十一日、本所で平成二十九年度新規就農者（後継者）に対し激励状を贈呈しました。

新規就農者への激励状贈呈事業（JAグループ北海道）の一環で、就農者が英知と努力をもって農業に意欲的に取り組むことを期待し実施しております。

今回、橋村翼さん（鶴居）、田口佑輔さん（白糠）の二名に武藤組合長から激励状が贈られました。今後のご活躍をご期待致しております。



コンクールの様子

全道窓口セールスコンクール 八木職員優秀賞 受賞!!

五月十三日、札幌市内のホテルで北海道信連主催のJAバンク北海道全道窓口セールスコンクールが開催されました。

「年金指定替え」と「純新規推進」の二部門で、全道各地区から予選を勝ち抜いた各八名が「提案セールス」をテーマに「情報収集力や提案力、接客態度」等を競いました。白糠支所の八木優紀職員は釧路地区代表として出場し、優秀賞を受賞しました。

植生改善プロジェクト 植生調査を実施!!

～各地区の傾向を把握し今後の改善策へ～

<実施内容>

- 鶴居地区（5月23日～25日）
185圃場実施
- 幌呂地区（5月22日～24日）
167圃場実施
- 白糠地区（5月23日～26日）
328圃場実施
- 音別地区（5月31日～6月2日・7日）
220圃場実施

五月二十二日～六月上旬にかけて、植生改善プロジェクトメンバーによる植生調査を実施しました。昨年引き続き、各地区一部の圃場をそれぞれ調査し、今回の結果は表のとおりとなりました。今後は全圃場を調査し、植生傾向を把握、調査情報を草地管理システムに反映させつつ、各地区に合った改善策に取り組んで参ります。

調査まとめ（各地区選定圃場）

● 植生割合（%）

	チモシー	オーチャード	クローバ	ペレニア ルライグ ラス	シバ ムギ	リード	ケンタ ッキー	メドー フォク クス	ギシ ギシ	その他	裸 地
JA全体	25	7	5	0	14	18	6	3	1	11	10
鶴居	30	8	3	0	12	18	7	1	1	14	7
幌呂	25	5	6	1	24	15	4	0	1	10	9
白糠	22	8	8	0	11	19	7	2	0	11	12
音別	23	7	7	0	8	20	8	10	1	8	8

（※0%は0.4%以下）

● 地区毎・前年調査圃場との比較

- ※全体……………チモシー5%少ない
その他雑草5%多い
- ①鶴居地区……………オーチャードグラス6%多い
シバムギ13%少ない
リード5%多い
- ②幌呂地区……………チモシー12%少ない
リード8%多い
- ③白糠地区……………チモシー7%少ない
その他雑草6%多い
メドーフォックス二年連続で2%
- ④音別地区……………メドーフォックス12%減少
ケンタッキー6%増加



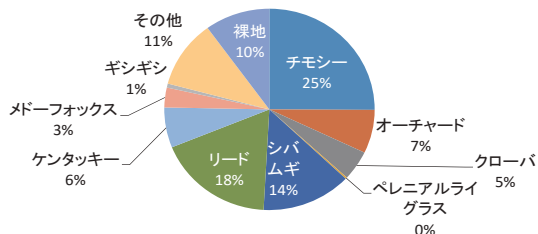
植生調査の様子



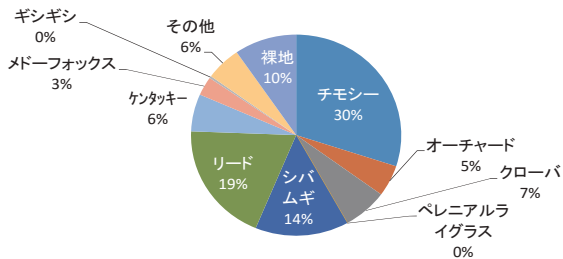
JAくしろ丹頂植生改善プロジェクト H29年5月実施・植生調査結果

地域の特徴、2年同一圃場ではありませんので、単純な比較はできませんが、鶴居・幌呂地区では、シバムギが雑草の中で約20%前後、音別・白糠地区では、リードが20%と多く、メドーフォックスは音別で多い。全体では約40%が牧草でほぼ去年と同じ割合でした。

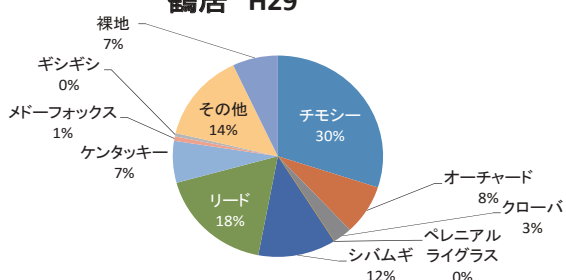
丹頂全体 H29



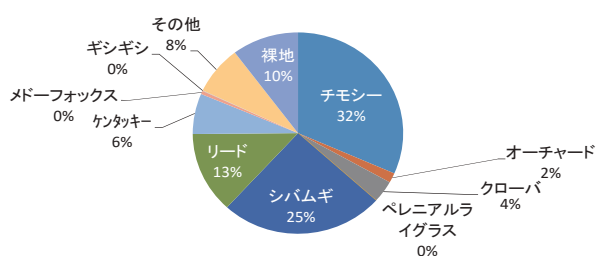
丹頂全体 H28



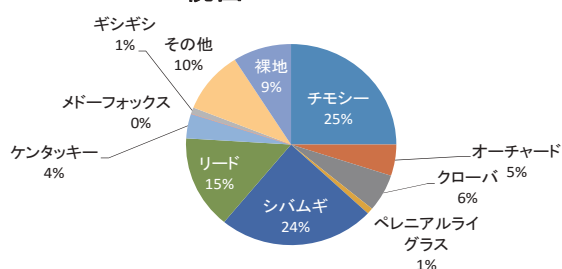
鶴居 H29



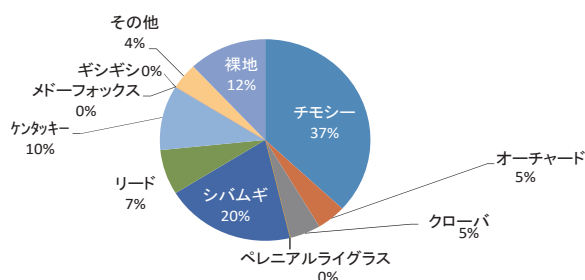
鶴居 H28



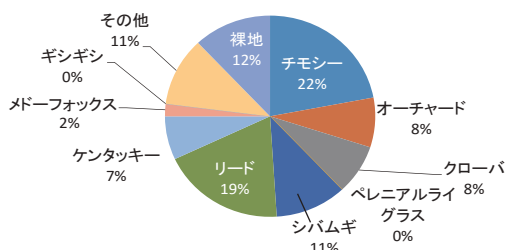
幌呂 H29



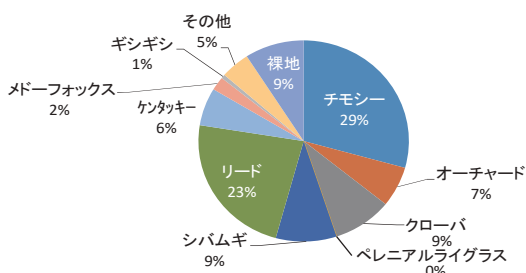
幌呂 H28



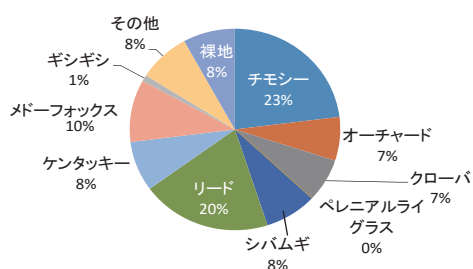
白糠 H29



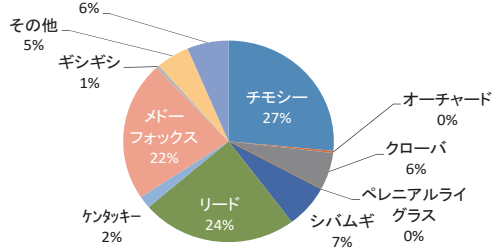
白糠 H28



音別 H29



音別 H28



日本獣医生命科学大学を訪問しセミナー開催

六月七日、産学連携協定事業の一環として白木常務、坂本営農部長、對木賢雅青年部長の三名が日本獣医生命科学大学を訪問し、農業に関するセミナーを実施しました。

白木常務より「株式会社と協同組合の違い」、坂本営農部長より「JAの概要及び農業情勢」、對木青年部長より「自らの経験から伝えられる酪農の良さ・魅力」等についてパワーポイント等を使い解りやすく説明しました。

参加した約100名の学生は、初めて知る農業の現状等も多々ある中、実習の受け入れや新規就農、担い手対策



酪農の魅力を説明する對木青年部長

支援等や農業の良さ魅力について真剣に聞き入っており、農業に対する関心の深さが見受けられました。セミナー後は学生との意見交換会を実施し、質問・意見等が出され、意義あるセミナーとなりました。

尚、大学側からこのセミナーに参加した学生の感想文を提供して頂きましたので、その一部を今後数回に分けて掲載させていただきます。

日本獣医生命科学大学の学生による感想文

No. 1

①

JAくしろ丹頂のマークが「タンチョウ」の生息地を表していて、釧路がどれだけ緑が豊かで酪農に適した土地であるかが理解出来ました。JAでは、組合員の生活を守り向上することが目的で、組織者・運営・利用者が同一であると知り、助け合いや協調性が必要になってくることを学びました。その点は、一般的な会社員より組合員の方が長けていて、良い方針だと思いました。

酪農は、心の豊かさを育み、命と直で向き合うことが出来る貴重な場であると感じました。農業における担い手不足を改善するために、JAくしろ丹頂が行っている対策

やサポートがしっかりとされていて安心しました。新規就農者にとってこれほど手厚い支援を受けられることは、とても心強いことだと思います。また、農業に興味を持った私達のような学生も、実習や体験を行うことの出来る体制が整っていることは、とても喜ばしいことだと思います。

実際に現場で農業（酪農）をしている人の話を聞くことが出来て良かったです。「手をかけた分だけ成果が上がる」「子育て環境に恵まれている」「仕事で通じた人と親しくなれる」など一次産業の魅力を学べ、とても勉強になりました。



②

私は牛や豚などといった産業動物に関わる仕事は絶対にやりたくないと思っていた。理由は不潔な環境下で働かなくてはならないことと、朝早くから夜遅くまで世話しなくてはならず、それも毎日することと、やはり命を相手にすることなどがあるためである。また、ニートが就職できたり、親の職業をただ継ぐ人もいるので、今まで勉強してきたにもかかわらず同じスタートラインにつかなければならないことも理由にある。

しかし、今回の一次産業の魅力聞き、少し酪農も良いものと思った。その魅力は手をかけたらその分の成果がえってくる、人とのつながりもあり子育てを見守る環境が整っている。さらには命と向き合うことにやりがいを感じるのだ。

ただし、酪農家になつたとき牛や豚以外に考えなくてはならない問題がある。それは担い手対策である。現在、家

族経営と大規模経営が混在する中、高齢化や担い手不足が大きな問題となっており、様々な対策がなされている。

しかし、依然として酪農復興の目は立っていない。そのため乳牛の頭数も年々減ってきている。この状況を打開するためにも日獣生である私たち一人一人が酪農、家畜と向きあわなければならない。そして、今回の酪農の魅力を世間に伝え、初めに私が思っていたような考えを払拭できれば日本の酪農はプラスへと変わっていくだろう。



③

家畜への人工授精の技術が発達の裏で、雌牛の減少が見られているということは初めて知りました。後継牛の問題はかなり深刻であることを聞いて、日本の酪農家や将来、乳製品がどうなっていくのかとても心配になりました。

しかし、生産量に関しては右肩上がりのように、昔と比べると上がっていることは日々の技術の進歩のおかげであるのかなと思いました。戸数が減り、高齢化による担い手の減少、その環境の中で搾乳マシンや牛舎などの施設また人工授精などによる優良な牛の育成など、あらゆる方面の技術によって成り立っていることが改めて分かりました。そして、酪農家同志の努力も欠かせないことも実際に話を聞いて身に染みました。私達は、少なくとも動物または家畜に興味を持ち、この



大学に入っただけで、他では勉強のできない専門性に富んでいます。その環境をおおいに活用したいと思いました。

実習先などで酪農に直接触れ合える機会がたくさんあるので、ぜひ参加したいと思いました。そして日常では得られない様な考え方やものの方を取得し、何か社会に貢献していきたいと思いました。

④

私は、今酪農の経営について一番興味があるので、そうした話がたくさん聞けてよかった。酪農家の高齢化や、戸数の減少は今まで何度も聞いてきたが、実際に「乳牛飼養戸数と搾乳農家戸数の推移」を見て、その減り方にびっくりした。こんなにも減少しているのに関わらず、牛乳が品薄状態にならないのは、やはり現代の人たちがいかに牛乳を飲まないかという事なのだと思う。

牛の数自体は減っているが、一戸当りの乳牛飼養頭数の推移を見ると増えていて、規模を拡大している農家が多いのかなと思った。また、生乳生産量も減っているが、一戸当りの量は増えており、規模拡大と共に生産性の向上も重要なのだと思った。

今回、對木青年部長さんのお話の中で、3つのやりがい



の話がとても素敵だなと思った。「手をかけた分だけ成果があること」「子供への環境が良いこと」そして「仕事を通じた人とのつながり中でも両親の働いている姿が近くで見ることが出来る」ということや、地域のコミュニティは現代の人たちにとってとても必要な部分であるように感じた。特に、少子高齢化が進む中で「地域で子供を育てる」という環境が必要であると考えている。

⑤

「人と人とが結びつき、力を合わせる」ことはとても素晴らしいことだと思います。

「食事をする」という行為がそもそも人と人を繋げていることであり、その食の土台となる農業が人との繋がりを大切にしていなければ、食は崩れてしまうと思います。そのためにも、まず農業から人が離れていく現状を打破しなければなりません。私たちのような若い世代が農業に関心を持つことは、とても貴重であり未来の食生活のためにも大切なことだと感じます。

今回、このような現地の方々からの貴重なお話を聞く機会をいただき、酪農の現状とこれからのことを改めて学ぶことができました。

私は、実家や祖父母が農業を経営している訳ではありません。農業のことは本当に何も知りませんでした。しかし、

小さな頃から食の流通に興味があったことと、授業や今回のようなお話で更に農業に興味を持つようになりました。今、農家は高齢者の方が多く、新規就農も少ないです。私たちがしっかり知識を身に付け、農業に新しい技術を取り入れたり、人との繋がりを駆使した知識を取り入れたりすることで、未来の食の文化を守っていききたいと感じました。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JAグループ北海道は、平成29年度の農業政策提案事項



の検討にあたり、基本農政並びに各作目別対策本部委員会を開催しました。

基本農政対策本部委員会では、国際貿易交渉に係る動向を共有するとともに、世界の諸情勢を見極めながら国際貿易交渉等への対応について機動的な運動展開を図ることを確認しました。また、持続可能な北海道農業の確立に向けて、担い手・人材力強化や産地体質強化などの作目共通対策の組織討議原案を協議、決定しました。

今後、各地区・JA段階での組織討議を行いながら、現場の意見を踏まえた要請活動につなげて参ります。

JA北海道信連

JAバンク北海道は、5月



に開催された「日刊スポーツ豊平川マラソン」へ協賛しました。当日は、ランナーのゼッケンに「JAバンク北海道」のロゴを出したほか、ちよリスグッズの抽選会（400名以上の方が参加）や、ちよリスと一緒に撮った写真をSNSに投稿した方へグッズ等をプレゼントする企画を行いました。

今後もイベントへの参加や協賛を通じて、地域の皆様を応援してまいります。



ホクレン

社会・地域貢献



活動「シーズプロジェクト」の一環として、児童養

護施設の子どもたちに北海道日本ハムファイトーズの試

合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道への愛着を持つ

てもらおうと、児童養護施設9施設に札幌ドームでの観戦チケット160枚と限定ユニフォームをプレゼントしました。

この取組みは、2013年から継続して実施しており、今年で5年目になります。



JA共済連北海道

地域貢献活動の一環として生徒向けの交通事故



故対策活動に取組んでいます。スタントマンが交通事故を再現して危険性を疑似体験（ス



ケアード・ストリート技法）させる交通安全教室を開催し、自転車走行のルールやマナーを学んでいただいています。今年度は道内8つの高等学校で開催を予定し、活動を通して交通事故が減り、組合員・地域の皆様が安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の



皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行して

ります。年3回発行しております。様々な医療・健康情報を発信して

おります。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



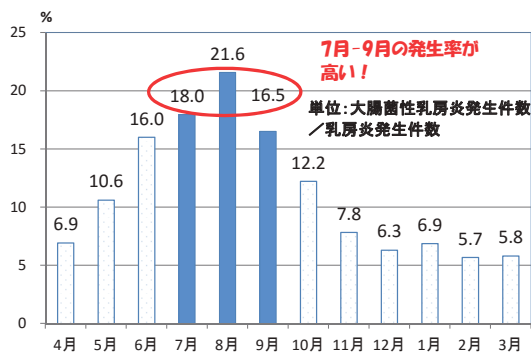


図1 大腸菌性乳房炎の割合 (H28年4月からH29年3月まで共済組合釧路西部事業所調べ)

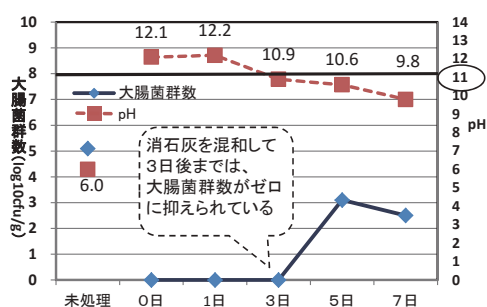


図2 消石灰混合後のpHおよび大腸菌群数の推移

(H29年根釧農業新技術発表会根室農業改良普及センター発表)

調査したおが粉の容積重 (1 m ³ あたり)	約200kg (152 ~ 211kg)
消石灰混合量 (重量比3 ~ 5%)	6 ~ 10kg
(重量比5%の場合) おが粉1 m ³ に対して、 消石灰10kg程度を混合	

図3 混合する消石灰量の目安
(出展は図2と同じ)



写真1 一日使用するおが粉に消石灰を混ぜて翌日牛床に散布

敷料について考える

『おが粉の衛生対策』

昨年八月、普及センター管内のA農場の方が「大腸菌性乳房炎に罹った牛が死んでしまった」と話してくれました。

この時期は暑さと降雨(八月は平年に比べ34%)で湿度が高まり、乳牛は乳房炎に罹りやすい環境であったと考えられます。昨年を振り返ると、環境性乳房炎の一つで、重篤な症状になる大腸菌性乳房炎発症率は七・九月に高かったことがわかりました(図1)。

これからの季節は、乳房炎対策として敷料の衛生度を特に高める必要があります。

そこで今回は、敷料として広く使用されているおが粉の衛生対策について紹介します。

おが粉の細菌数の実態

おが粉は扱いやすく、保水性・吸湿性に優れています。粒子が小さいため細菌が増えやすいという欠点があります。

根室農業改良普及センターで実施された試験結果によると、おが粉に消石灰を5%混合すると、三日目までpHは一を上回り、大腸菌群数はゼロに抑えられました。この結果から、殺菌効果は三日間持続すると考えられます。(図2)。

現地事例

B農場では、牛床に使用するおが粉へ、消石灰を混ぜています。(写真1)。おが粉の重量は図3を参考にすると、重量比5%以上混合されていました。

そこで、未使用おが粉の細菌数を調査したところ、乳房炎に感染する可能性がある百万cfu以上の細菌数が見つかりました(写真2)。しかし、消石灰を混ぜたことで細菌数は三日後までゼロであることがわかりました(写真3)。



ただし、牛床に残っていたおが粉には、使用前と同程度の細菌数が見つかったことから、乳房炎の予防には牛床を消毒する必要もあると考えられます。

おが粉を敷料に使用している農場で、乳房炎にお悩み方は、是非、消石灰の混合をご検討下さい。ただし、消石灰の混合量が多すぎると乳頭の荒れを助長しますので、混ぜる量に注意して下さい。

(平成二九年五月執筆)



JA²MP

[ジェイエイ・ジャンプ]

を使ってみよう



JAグループ北海道が提供するスマートフォンアプリ「JA²MP」は、北海道の食と農の情報でいっぱい。北海道にたくさんあるJA直売所から、旬の農産物の情報をタイムリーに発信する「オススメ農産物」、毎月、テーマを決めて記事が取材する「特集一覧」、季節ごとのブランド野菜の魅力や北海道の農業について学べる、いちおしコンテンツの「チェックインスポット」を使って、直売所やAコープなどJA関連施設を訪れるとポイントが貯まり、抽選でおいしい北海道の農産物などが当たります。「JA²MP」といっしょにお出かけして、おいしくお得な情報をたくさんゲットしましょう。

まずはダウンロード！



※動作環境：iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく動作しない場合があります。※本誌は予告なく変更となる場合がございます。●(Android) (Google Play) はGoogle Inc.の登録商標です。●(iPhone) (App Store) (iTunes) は、Apple Inc.の登録商標です。●Apple Inc.の登録商標です。●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります。必要とするご費用とさせていただきます。●本アプリのバージョンアップの際や本アプリが正しく動作しないことにより貴店などでお断りいただく場合がございます。

JA2MPって何ができるの？

JAグループ北海道の直売所にチェックイン 旬でお得な農産物情報を毎日チェック

北海道にはJA直売所やAコープ、ガソリンスタンドのほか、JAバンクA.T.Mなど、JAグループ北海道の関連施設がたくさんあります。アプリの中にある「チェックインスポット」を使えば、便利で簡単なポイントラリーに参加できます。JA関連施設や季節の行事イベントにたくさん訪れて、チェックインするとポイントが貯まります。ポイントを集めると豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に参加できます。いちおしコンテンツ「チェックインスポット」の使い方を紹介します。

オススメ農産物

全国各地にあるJAの直売所から、旬の野菜や地産の農産品などの情報をタイムリーに発信します。直売所で、どんな農産物が売られているかを簡単に調べることが出来ます。そこでしが手に入りにくい、珍しい農産物をチェックして直売所へ行く、直売所までの道のりもナビゲートします。



チェックインスポットを探す

金道各地にあるJAグループ北海道の関連施設にチェックインすると、ポイントが貯まります。詳しい使い方は下記で紹介しています。

特集一覧

テーマに沿って、食と農に関する情報を毎月更新。季節の楽しい農産物イベントなどを紹介します。珍しい農産物や農産物がどのように作られているかを学ぼう！北海道農業の伝統が満載。記事からチェックインスポットして、紹介された農産物を売っているJA直売所へ行く！



チェックインスポットを探す！ チェックインスポットラリーでポイントを貯めよう！ ポイントで素敵な景品を抽選でプレゼント！



北海道内にたくさんある施設がチェックインスポットに登録されています。チェックインスポットへお出かけして「実際にその場所に行ったよ」というスタンプをもらってください。ポイントが貯まります。まずはここをタップ！

チェックインスポットの探し方は4つあります。スマートフォンの位置情報システムを使って、自分が今いる場所の近くにあるチェックインスポットを探すことができます。



自分が今いる場所をスマートフォンが測定できたら、このように周辺のチェックインスポットが表示されます。



チェックインスポットへ行ってみたら、ナビ機能もスタート出来ます。



目的地に着いて、画面右下に出ている「チェックイン」のボタンを押せば、チェックインできると通知が来ます。そして「チェックインする」をタップ。



最初にチェックインした施設を1,000ポイント、2回目以降のチェックインは1回100ポイントの「チェックインポイント」がもらえます。

腸活習慣始めませんか



対象商品
1個ご購入ごとに
抽選はがきを連発

腸の働きを高めて 選べるグルメ道産品をセレクト が当たるチャンス!

毎月20名に
賞品をお贈りします



お求め・お問い合わせは、あなたの街のJA配置薬推進員にお気軽にご連絡ください。



対象商品のご案内

ラブレゼリー

おいしく毎日、
続けられる
スティックゼリー。

- フルプレ(植物性乳酸菌)配合です。腸内改善や免疫機能向上が期待されます。
- ガククトオリゴ糖配合。腸内の善玉菌の栄養源です。善玉菌を増やして腸の働きを活性化します。



〈30包〉3,000円(税別)

野菜酵素青汁

米量産の多い大豆・大麦の新芽のみ選別。100種以上の野菜・野草・果物を発酵させた食物酵素をプラスしました。



〈31包〉2,200円(税別)

補酵素のちから

野草・果物などを発酵調整させた野草酵素とフルー・ターニャー発酵菌を加えた酵素飲料です。(7〜10歳児服用)

〈プレミアム〉 〈バインズ〉 〈マスカット〉
キウイ味 プルベリー風味



〈1000ml〉各2,800円(税別)

- 対象期間 2017年5月1日〜7月31日までのご購入分
- 応募方法 対象商品をお渡しの際に、専用抽選ハガキをお渡しします。専用ハガキに住所・氏名・希望商品など必要事項を記入のうえ投函ください。
- 抽選方法 期間中、毎月末に到着した応募ハガキを厳正に抽選します。
- 賞品のお届け 各月毎に賞品を送ります。(賞品の発送をもって当選者の発表にかえさせていただきます。)
- 応募締切 2017年8月5日消印有効



選べるグルメプレゼント



A 五島軒オリジナルセット
3缶6箱



B どろふたギフト
9点詰め合わせ



C びらとり和牛極上バラ
すき焼き700g



D 多良の子虎杖浜のまごころ
500g



ご注意

お客様の住所などが不明で賞品が送附できない場合は、当選を無効とさせていただきます。賞品の交換・現金・返品はできませんので、あらかじめご了承ください。

商品やキャンペーンに関するお問い合わせは

JA北海道厚生連 医薬事業部配置薬課

フリーコール 0120-99-4193 (無料)・受付時間 平日8:30~17:00

商品のお求めは、お近くの推進員まで

谷田 将信 (たにた まさのぶ)

090-3779-6979

(受付時間 平日8:30~17:00)



JAバンク 北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

みんなでおいしい北海道



ドド〜ン^{ちよ} キャンペーン

2017夏

定期貯金、定期積金を
一定の条件で

お預けいただいたお客様に

全道合計3,000名様にプレゼント!

キャンペーン期間: 6/1(木) ▶ 7/31(月)



ドド〜ンと
北海道産肉詰合せ
(牛・豚・羊/3kg)

A賞
25,000円相当

200名様

B賞 ドド〜ンと選べる!
JA特産品3点セット

全道のJAから新鮮な農産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
3品(10,500円相当)をお選びいただけます。

300名様



C賞 ドド〜ンと選べる!
JA特産品1点

全道のJAから新鮮な農産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
1品(1,000円相当)をお選びいただけます。

500名様

Wチャンス 各賞にハズしてもチャンス!
JA特産品1点または
農協商品券

2,000名様

ドド〜ンと先着で! left・CHORIS
フロストボーチプレゼント!

プレゼント応募条件
対象商品(受入条件)

定期貯金
10万円以上

定期積金
12万円以上

※対象外: 個人名義の口座
※対象外: 定期預金(10万円未満)
※対象外: 定期積金(1万円未満)
※対象外: 定期預金・定期積金の一部
※対象外: 定期預金・定期積金の一部

さらに JAカードを新規申込の方に left・CHORIS
クーラーバッグ&アイスパックプレゼント!

【応募方法】窓口でお申し込みの際は応募用紙にお名前を記入し、窓口へお持ちください。
【当選発表】当選発表は7月10日(月)15時までに、JAバンク北海道(札幌)にて発表します。
※当選発表は、当選発表日の翌日、JAバンク北海道(札幌)にて発表します。



JAくしろ丹頂

本 所 TEL.0154-64-2313
幌呂支所 TEL.0154-65-2311
白糠支所 TEL.01547-2-2183
音別支所 TEL.01547-6-2111

理 事 会 報 告

5月定例理事会 平成29年5月31日(水)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 4月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 決算状況について

(一般社団法人 釧路市音別町農業振興公社)

付議事項

- 議案第1号 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書について
- 議案第2号 組合業務及び財産(連結含む)の状況に関する情報開示について
- 議案第3号 融資の承認について
- 議案第4号 固定資産の取得について

議案第5号 平成28年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の承認について

議案第6号 職制規程(別表1「機構図」、別表2「業務分掌表」並びに別表3「職務権限表」)の一部変更について

議案第7号 サポーター550万人づくり活動基本方針の制定について

議案第8号 理事の報酬の配分について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 春季地区別懇談会および第11回通常総会における意見・要望等について
2. JA所有地の処分について
3. 当面の業務日程について

■平成29年度		生乳生産実績(5月)		
	月計乳量(kg)	5月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,653,565.4	96.4	16,803,473.3	95.7
鶴居地区	3,054,525.6	100.0	5,918,730.8	99.8
幌呂地区	2,275,969.3	96.6	4,470,565.1	96.2
白糠地区	1,790,464.1	95.4	3,478,614.3	94.9
音別地区	1,532,606.4	90.5	2,935,563.1	88.6
管内計	45,939,068.2	96.3	89,165,713.8	96.3
(前年度管内計)	47,707,047.4		92,627,266.1	

JAやJA関連団体へ100%就職

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 第1回学生募集 JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成29年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:9月9日・10日 ●願書受付:6月5日～8月14日消印有効 ●学校見学もできます

男女共学

JA、JA関連団体へ就職

お問い合わせ
資料請求

JLグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ 校務課

編集後記
EDITOR'S NOTE

□六月から本格的に始まった一番草収穫作業を写真に収めるため、鶴居と幌呂に時期を見計らい取材に行ってきました。あいにく曇り空でしたが、採草している畑から頻繁に出入りするトラックの邪魔にならないように気を付けつつ、草地に徒歩で入らせて頂きました。実際草地に入るとその圃場の地形や状態、モアコンで刈った後の圃場の様子、その農場や地域の作業形態、作業者の様子などが遠くから見るとより格段によくわかり、普段見ることのない作業風景を垣間見ることができました。今後もますます続く牧草収穫等における農作業事故には十分注意し作業にあたって参りましょう。